

ライフイノベーションWG 検討の視点

ライフイノベーション分野の規制・制度改革の検討にあたり、当ワーキンググループでは、安全・安心と国民の利便性の向上、その結果としての我が国経済の成長を両立させる観点から、今後の医療・介護のあり方として、以下の方向性を目指すべきと考える。個別の規制・制度のあり方に関しては、こうした大きな方向性の下に判断されるべきである。

大胆なパラダイムシフトを促すべき

- ✓ 供給者目線から消費者目線へ ~患者・利用者の選択確保~
- ✓ 中央集権から地域主権へ ~地域の事情に合致した医療の推進~
- ✓ 事前規制から事後チェック行政へ

開かれた医療を実現すべき

- ✓ 透明性の高い医療・介護へ
- ✓ グローバリゼーションの促進
- ✓ 個別化医療の推進

産業としての競争力を強化し、付加価値を向上すべき

- ✓ イノベーションによる国際競争力の強化
- ✓ 事業者の創意工夫によるサービス提供
- ✓ 協働・連携・自律による医療・介護の推進